

年頭のご挨拶



公益社団法人
鹿児島市薬剤師会 会長

谷 口 欣 平

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

鹿児島市医師会の先生方におかれでは、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、私ども市薬剤師会の会員が各面からたいへんお世話になっていることに心からのお礼と感謝を申し上げます。

昨年を振り返ってみると、国内においても世界的にも大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の大流行があります。我が国においては、医療従事者の奮闘もあり重症者数は抑えられていますが、患者数は激増しております。未知の疫病であり、生命だけでなく社会や経済にも深刻なダメージを与え、これまでのシステムが脆弱で、その再構築・強化が喫緊の課題であることを浮き彫りにしました。

一方、昨年も大きな自然災害が各地で多発し、隣の熊本県では球磨川の氾濫により甚大な被害があり、生活や交通基盤の復旧にはまだかなり時間を要するようです。

昨年は、「かつて経験したことのない」という言葉を頻繁に耳にしましたが、今後はさらに多くなるのではないかと懸念しているところです。

さて、4年後の2025年には団塊世代が75歳以上となり、高齢化率が約20%の高齢社会を迎えると予想されています。まさに我が国の少子高齢化は他の国もかつて経験したことの

ないスピードで進んでいることから注目され、国においては社会保障費の増大、財政の逼迫を見据えた新たな保障制度の構築や国民皆保険・皆年金の維持・継承を目指した改革を進められております。今後、高齢者の医療、介護、予防、生活支援サービスを地域で支える「地域包括支援システム」において、私たち薬剤師も市医師会の先生方をはじめとする多職種連携のなかで、地域医療に尽力してまいりたいと考えております。

ところで、今年は「新型コロナウイルス感染症を人類が克服した証として東京オリンピック・パラリンピックを開催したい」という首相の思いが報じられていますが、有効なワクチンが開発され、世界各国が協同・協調して平和の祭典を楽しめる年となって欲しいものです。

また、鹿児島県と鹿児島市においては、感染症対策の強化を重要施策の一つに掲げた新たなリーダーが誕生しました。市薬剤師会としても行政や皆様方と連携・協力を一層強化して取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

結びに、市医師会の先生方のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして新年の挨拶といたします。